

Toward
Global
Peace



アジア・フェスタ

オンライン・リレー講座週間 & 二つ釜の飯交流会



アジアを軸に有機的関係を構築しよう！

アジア研究に関わる和光の教員が様々なゲストを招き、地域の皆さんを巻き込んで開催してきた歴史あるアジア・フェスタ in WAKO。今年もZoomでのオンライン講座と対面併用講座、対面講座あり！

2023 in WAKO

【お申込み】

Googleフォームからお申込みいただいた後、ZoomのIDとパスワードをお送りします。

URL: <https://forms.gle/p8oMME6ervpjxHoy5>

Googleフォーム



10.9 (月、祝) ——— 10.14 (土) 全6回

★何回でも受講可
(9日新大久保散策の食事は実費)

EVENT SCHEDULE イベントスケジュール

●9日（月祝）【ネパール・カレー移民たちの夢と現実～日本人の「ランチの定番」を支える人々】

19:00～20:30 オンライン講座《新大久保生中継／対面受講定員 10名》

講師：室橋裕和（ジャーナリスト、エディター。週刊誌記者を経てタイに移住。日本語情報誌に10年在籍し取材。著書『エスニック国道 354号線』『ルポ コロナ禍の移民たち』『ルポ新大久保』など高い評価を得ている）／MC：岡本有子（和光大学非常勤講師）

いまや日本中にあるインドカレー屋のほとんどがネパール人経営。なぜここまで増えたか？なぜ同じメニューを出しているのか？家族や学校、異国暮らしの悩みは？カレー屋として来日し成功を夢見るネパール人の実情に迫りつつ、多くの「カレー移民」たちの出身地＝ネパール・バグルンの取材記も紹介。

○17:00～18:30 室橋さんと行く新大久保散策《定員：10名／食事代実費》

「カレー移民」を含むネパール人たちの一大コミュニティがある東京・新大久保を歩き、ネパール食材店、ネパールレストラン、ネパール語新聞の編集部などを訪ね、ネパール人たちの暮らしぶりを見学。

●10日（火）【日本に住む日系ブラジル人たち～その素顔と最新動向】

19:00～20:30 オンライン講座

講師：アンジェロ・イシ（武蔵野大学社会学部教授。メディア論、移民研究。サンパウロ生まれ。在日ブラジル人向けポルトガル語新聞元編集長。著書『エスニック・メディアの役割』『変容する日本社会と文化』など）／MC：岡本有子

日本に住むブラジル人の数は1990年の入管法改定以来、国籍別では常にトップ5に入っている。30年以上が過ぎ、自分たちの歴史の保存など様々な動きが生まれている。あまり報道されていないコミュニティのトピックを「在日ブラジル人1世」の視点から紹介する。

●11日（水）【ネパールの祭り子ども～コロナ禍で激変した子どもを取り巻く環境】

19:00～20:30 オンライン講座《ネパール生中継》

講師：岡本有子（和光大学非常勤講師。ネパール舞踊研究。故ビレンドラ国王より表彰。天台宗僧侶。ネパール語通訳・翻訳者として在日ネパールの子どもたちの日本語支援にあたる。著書『ネパール芸能文化の宝宝箱』共著『現代ネパールを知るための60章』など）

135以上の民族が共生する多民族国家でヒンドゥー教と仏教の融合の地ネパールで多種多様なお祭りでの子どものかかわり方を紹介。後半はコロナ禍で激変した子どもを取り巻く環境と現状について現地 Sankar English School のビマラ・グルン先生はじめ教員や生徒さんから生の声をお聞きする。

●12日（木）【多宗教・多民族でも平和に暮らすインドネシア】

19:00～20:30 オンライン講座《インドネシア生中継》

講師：バンバン・ルディアント（和光大学経済学部教授。学術博士。専門はIT、国際協力、防災教育、ビジネスなど。大統領の通訳、国連勤務、政府開発援助機関勤務など幅広い分野で活躍）／MC：加藤巖（和光大学教授）

インドネシアのモットーはBhinneka Tunggal Ika（多様性の中の統一）。多数の民族・言語・宗教は共存しないとまらない。誰もが違う意見を言える平和に暮らす民主主義国家インドネシアを、現地のマツリンさん（マラン県、イスラム教）、ストリスノさん（ジャカルタ特別市、カトリック教）、タティさん（バリ島、ヒンドゥー教）と仏教の方を交えて語る。

●13日（金）【平和な時代の武道武術】

19:00～20:30 オンライン対面併用講座《和光大学生中継／対面受講可（和光大学第2体育館）》

講師：関根秀樹（和光大学非常勤講師。同空手部&護身術研究会顧問。多摩美術大学絵具実習講師。著書は60冊以上）。ゲスト講師：仲間孝也（和光大学卒。波照間島生まれ、石垣島育ち。太極梅花螳螂拳や武術の身体操作を指導。和光大護身術研究会師範）、奥本徹（和光大学卒。中国武術や古柔術を広く学び、八卦掌などを指導。和光大護身術研究会師範）／MC：バンバン・ルディアント

もともと戦うための殺傷技術である武術。一方、武という漢字は分解すると戈（ほこ）を止めるで、戦いを止める抑止するという誤説も。心身を鍛え、整え、美しい姿勢や動きと健康を追求する平和な時代の武術を考える。

●14日（土）【岡上レクチャー散歩】

10:30～12:30 小田急線鶴川駅から和光大学まで、川崎市岡上地区を散策

講師：岩本陽児（和光大学現代人間学部教授。専門は社会教育学・生涯学習論、基礎教育保障学。学生主体の学習喚起のため、グループディスカッションと発表を通じ、共に気づき学び合うことを重視。地域自然食文化など様々なアプローチでユニークな授業を展開）

江戸時代の農民は苗字をもっていた。イエスカノーか？和光大学に隣接する岡上地区は、神奈川県川崎市に属する「飛び地」。中世からの独立村で、豊かな歴史と文化が伝わります。質問の答えは、地域が教えてくれます。

○13:00～17:00【一つ釜の飯交流会】（和光大学G棟1階異文化交流室）

*各講座の講師も交えて、タイカレーなど、先生と学生が作るアジアンフードを食べながら交流

○15:00～【後藤幸浩先生による薩摩琵琶 特別演奏】（和光大学非常勤講師。薩摩琵琶奏者。2022年、劇場版アニメ「犬王」、TVアニメ「平家物語」の琵琶監修・演奏を担当）